

# 筑波大学新聞

第253号

編集責任 筑波大学新聞  
編集委員会  
委員長 中村紀一

TEL: 029(853)2040-6699  
E-mail: shinbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp  
月刊

発行所 筑波大学  
茨城県つくば市  
天王台1-1-1

## 業務改善が本格始動へ

### 組織の活性化、効率化を図る

#### 実施計画 戦略的人事打ち出す

業務の効率化・実質化を図り、教職員の業務の質的向上を目指す業務改善推進本部(本部長 岩崎洋一学長)は、昨年12月8日に行われた第2回本部会議で、各部署や事務各部から出された具体的な施策案を基に、業務改善施策をまとめた。同案には、3年異動の見直しや職員の専門職化など、戦略的人事方針も含まれていた。3月23日に行われた第3回本部会議では実施計画を決定し、4月から本格的実行に移った。

本部に提出された具体的な施策案には、業務の効率化を図るための▽抜本的な見直しやグループウェアの導入なども盛り込まれている。本部は、施策案を▽当該組織で直ちに実行可能なもの▽事前準備や条件整備が必要なものが、当該組織で完了するもの▽他の組織と協議

本部に提出された具体的な施策案には、業務の効率化を図るための▽抜本的な見直しやグループウェアの導入なども盛り込まれている。本部は、施策案を▽当該組織で直ちに実行可能なもの▽事前準備や条件整備が必要なものが、当該組織で完了するもの▽他の組織と協議

## 本学初の海外拠点

### 国際的な人材を育成

北アフリカ・地中海連携センター

北アフリカ・地中海地域の大学、研究所との国際連携、先端科学技術の共有などを目的とした、本学初の海外拠点「北アフリカ・地中海連携センター」が4月1日、チュニジア共和国の首都チュニスで発足した。

北アフリカ・地中海連携センターは、本学と国際交流協定を結ぶ「カルタゴ十一日七日大学」の国立チュニジア農業学院アケセス・メタジヤ内に設置された。

センターは、研究教育の国際連携の推進や派遣される職員への支援、本学や日本の教育研究に関する情報提供などを行う。5月3日には現地での開所式が行われ、本学からは吉武博通副学長(総務・企画担当)ら7人が出席した。

本学では、国際連携戦略として、大学が有する教育、研究者の知的ネットワークを大学全体の戦略として活性化させる世界的「知」のネットワークを開拓し、北アフリカ、中東、中央アジア、東アジアを含む地帯を「地球文明発祥地帯」と位置づけ、同地帯の安定と発展に

対する貢献という2つの方向性を打ち出している。チュニジアほかエジプト・地中海地域、リビアなどの北

アフリカは日本にとって未開拓の地域であり、乾燥地帯特有の生物資源を保有しているなど、多様な可能性を秘めており、そこに本国の科学技術との有機的な連携を目指して拠点を設置することとなった。

チュニジアと本学の間に組織的な交流が始まったのは2000年。本学と「カルタゴ十一日七日大学」との間で学術交流などを目的とした国際交流協定が結ばれ、04年には本学に北ア

### 紙面から

「コミュニティFM局 学園祭情報など発信 文部科学大臣表彰 本学から7人が受賞 バスケ 学泉大下し日本一に ズームアップ 本学の防犯対策 厚生事業一の矢、平砂で営業開始 ノギセンで田植え実習」

11 10 10 9 5 2

特集 6,7

学類・専門学群長が薦める一冊

三特集 3

図書館 豊富な蔵書 激動の歴史も

## 小柴博士、思い出語る

### 朝永生誕記念講演会

本学の前身である東京教育大学の学長を1956年から62年にかけて務め、65年に日本人として2人目のノーベル物理学賞受賞者となった朝永振一郎博士の生誕100年記念事業の一環として、記念講演会「時空を紡ぐ物理学」が4月29日午後2時から、つくば国際会議場(つくば市吾妻)の大ホールで行われた。会場には、約1000人の市民が訪れた。

野崎健輔(博士)が上映された。これは博士の業績と生涯を、関係者の証言や映像資料によって構成したものである。日本の物理学を世界レベルにしたという志に燃える

青年時代の博士の姿が描かれている。教授たちの会議が行われている最中に、突然尖塔に登り出すなど意外な一面も紹介された。

第2部では2002年にノーベル物理学賞を受賞した小柴昌俊博士(東京大学特別栄誉教授)による講演「懐かしい朝永先生」が行



初夏の日差しの中、三味線の練習をする芸者の学生(平砂宿舎横の桜広場で)(撮影・関田航一体育専門学群)

## つくば 歳時記

「桐の葉は木に朽ちんより」大正8年、本学の前身である東京高等師範学校が、大学への昇格を目指す時期に、当時学生だった大和資雄氏によって作られた宣揚歌「桐の葉」の一節だ。▼「桐の葉」は、前身校も含め、本学の長い歴史と共に、その姿をほとんど変えることなく歌い継がれてきた。「桐の葉」は現在も多くの同窓生の間で歌われている一方で、近年の学生にはあまり浸透していないというのも事実のようだ▼現在、本学の式典の中で、「桐の葉」が歌われる機会はない。式典では、昭和51年に本学が開学して間もない頃、当時の学生によって作られた学生歌「常陸野の」が歌われる▼「何故入学式で『桐の葉』が歌われないのか。後輩に歌ってもらえないのは悲しい。息子の入学式を見に来た本学のOBは嘆息した。宣揚歌に対する愛着を感じた▼本学の前身である東京教育大が筑波大学となってから約30年が経った。キャンパスを筑波に移した背景を考えれば、「常陸野の」を歌うことには何の異存もない。だが歴史ある「桐の葉」だ。このまま衰退の一途をたどるのは寂しい気もする▼時代は流れ、本学もまた時代と共にさまざまに変化してきた。だが、変えてはならないもの、無くしてはならないものはある。「桐の葉」は、まさにそれにあたるのではないだろうか。

### 筑波の孔

「桐の葉は木に朽ちんより」大正8年、本学の前身である東京高等師範学校が、大学への昇格を目指す時期に、当時学生だった大和資雄氏によって作られた宣揚歌「桐の葉」の一節だ▼「桐の葉」は、前身校も含め、本学の長い歴史と共に、その姿をほとんど変えることなく歌い継がれてきた。「桐の葉」は現在も多くの同窓生の間で歌われている一方で、近年の学生にはあまり浸透していないというのも事実のようだ▼現在、本学の式典の中で、「桐の葉」が歌われる機会はない。式典では、昭和51年に本学が開学して間もない頃、当時の学生によって作られた学生歌「常陸野の」が歌われる▼「何故入学式で『桐の葉』が歌われないのか。後輩に歌ってもらえないのは悲しい。息子の入学式を見に来た本学のOBは嘆息した。宣揚歌に対する愛着を感じた▼本学の前身である東京教育大が筑波大学となってから約30年

# コミュニティFM局 学園祭情報などを発信

## 開設間近も、前途多難

### 資金・人不足が深刻

地域の情報発信基地を本学に「つばしFM」地域密着型のコミュニティFM局を学内に開設する計画が本格的に動き出した。4月10日、ラジオ局を開設するという意思を足立和隆助教授(体育)らが関東総合通信局に報告。現在市内のどこにアンテナを設置するかなど、通信局側の審査を待っている。

設置されるFM局は出力20ワット以下の小規模なものだ。アンテナは本学で最も高い総合研究棟Bの屋上に設置し、半径20キロ以内の範囲を対象とする。送信周波数は84.2MHzを予定している。

放送される番組の企画・収録・編集の全過程は、学生団体「ラジオフリークス」が行う。学園祭などのイベント情報番組やクラシック音楽を流し、その曲の解説などを行う音楽番組、高齢者向けストレッチ番組やパズル番組なども企画されている。つばしFM局も企画を要請したが、今のところ協力を得られていないという。また、人材不足も深刻な問題だ。

今後、株式会社と同時にNPO法人を設立し、一般企業との差別化を行う方針だが、資金と人材の確保は未だに自途が立っていない。足立助教授は今後、広報活動にも力を入れていくというが、「自分たちで大学と地域を活性化してやる」という学生や教員が少ないうちの苦渋の表情を浮かべ、開局までの道のりはまだ遠い。

## 監査室 本学に設置 大学業務の効率性を検証

大学の監査機能を充実させるため、本学は今年3月、既存の監事、会計監査人に加えて、専任職員3人からなる監査室を設置した。監査室では、主に学内組織の業務内容や課題、中期計画の進捗状況、財務に関する情報を収集、解析し、組織に対して助言などを行う。

これまで法人化後の大学の体制作りに入れてきたが、今後は、学生支援や教育環境の整備についても監査を行っていききたいという。

法人化前の監査は、国の機関である会計検査院が会計経理の適正化・是正や収入支出の決算の確認を行っていた。法人化後、各大学の大学運営に関する自己責任が高まり、文部科学大臣に任命された監事による業務監査と、学外者である会計監査人による会計監査が新たに義務づけられた。これまで、環境安全対策の充実や、法人化に伴う財務会計制度に關して監事が提言を行ってきた。

監査室は、監事や会計監査人と協力しながら大学業務が組織の方針に従って効率的に行われているか、客観的な立場で検証し、改

## 技術 附属病院で出張販売

### 季節の野菜を安く提供

生命環境科学研究科や生物資源学類の教育実習で栽培した作物を本学附属病院の患者サービスや地域貢献に活用しようと、農林技術センター(センター長=餅田浩之、地球技術=教授)では毎月2回(第1・3水曜日)午後12時30分から1時間程度、附属病院セラビ

「ガーデンで、野菜や草花など農作物の出張販売を行っている。販売されるのは、同センターで採れた新鮮なものばかりだ。」

4月19日に行われた出張販売では販売開始10分前から、患者や病院の職員らおよそ60人が列を作った。整ったの岡野勉さんは今後、門脇副学長が本学の

## 泉 副学長 教育研究の下支えを

泉副学長は、これまで法人化後の大学の体制作りに入れてきたが、今後は、学生支援や教育環境の整備についても監査を行っていききたいという。

「秋野哲也監査室長(常務銀行より出向)は「監査を通じて、本部・部局間、職員間、そして大学と学生の間の対話を深め、課題の共有を促進することで、大学の目的を達成出来るようにしていきたい」と語った。

本学HPを盗用 筑波学院大(つばしFM)は市吾妻の2005年度版大学案内に、本学情報学類のホームページ(HP)に掲載されていた文章が無断で使用されていたことが4月21日、わかった。同大が本学と進めていた単位互換制度を検討する過程で判明した。同大では、今年度の大学案内やHPから利用部分を削除し3月、本学に謝罪した。今後は大学案内などを厳しくチェックし、再発防止に努めるとしている。

同大は事件発覚後、大学案内を作成した助教授を厳重注意処分にするつもりで、門脇副学長が本学の

## 瀧田 副学長 研究型大学を目指す



「まず就任にあたっての抱負を。」

本学は、ノーベル物理学賞受賞者である朝永振一郎先生を始め、世界に誇れる研究者を多数輩出してきている。岩崎学長を先頭に、教

育と研究を両立させながら、国際的に存在感のある研究型大学を目指したい。元先端学際領域研究センター(TARA)長として

る。岩崎学長を先頭に、教

育と研究を両立させながら、国際的に存在感のある研究型大学を目指したい。元先端学際領域研究センター(TARA)長として

る。岩崎学長を先頭に、教

育と研究を両立させながら、国際的に存在感のある研究型大学を目指したい。元先端学際領域研究センター(TARA)長として

## 新任 副学長に聞く

4月1日付で研究担当副学長に瀧田宏樹理事(物分)が、財務・施設担当副学長に元文部科学省官房審議官の泉伸一郎理事が就任した。2人の副学長に抱負や課題を聞いた。

「就任に至った経緯は、学長からこれまでの経験や知識を請われて来るようになったと認識している。直前の仕事は、文部科学省高等教育局で国立大学の支援や大学制度全体の運用、奨学金、留学生支援といった学生サービスの行政に携わった。」

「就任にあたっての抱負を。」

以前の仕事と関係あるが、これからの日本の大学のあり方、国立大学のあり方について、中央教育審議



「当面の重点的課題は、国立大学は日本のこれからを育成するために、人材を育成するために、国の投資、国の予算で教育・研究活動のサポートをしている。それを頭に置きながら、大学で勉強や研究に励んで成果を上げて欲しい。我々はそれを下支えする活動をやっている。特に新入生の皆さんは学生生活を謳歌しようというところではあるけれども、勉強もしっかり励んでほしい。さらに幅広く色々なことに興味を持って心掛けて欲しい。(本紙・丹野直美「人文学類」から現職)

古川俊一(ふるかわしゅんいち)システム情報工

学研究所教授、経営・政策科学専攻長、社会システム・マネジメント専攻 4月14日死去、58歳。

1978年ハーバード大学大学院都市・地域計画研究科財政・経営専攻卒。71年自治省、88年長崎県経済部長、94年自治省参事官、00年本学教授などを経て05年から現職。

# 図書館 豊富な蔵書 激動の歴史も

前身の東京師範学校から数える、120年を超える歴史を持つ。附属図書館(図書館長・植松貞夫)には、あまり知られていない活動も多い。普段、何気なく利用している附属図書館の隠れた魅力の一端を紹介する。(本紙・鈴木真理Ⅱ 情報専門学群)

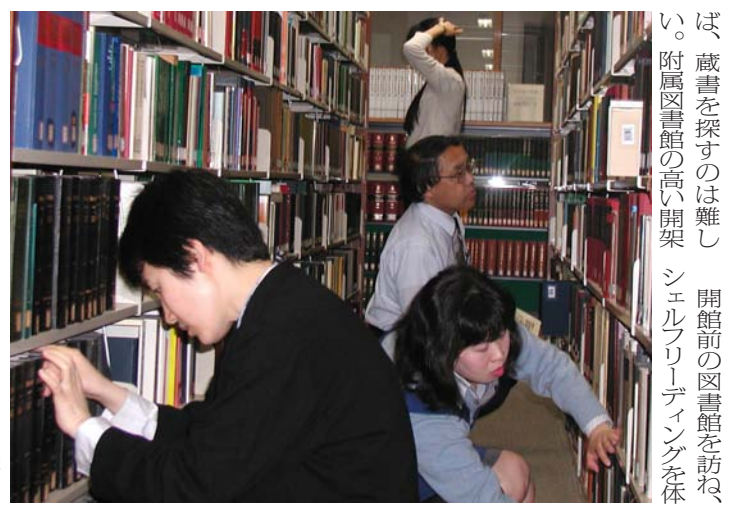
## 全面開架と一極集中

### 特徴

内などを行う図書館ボランティアも受け入れている。98年には、京都大学附属図書館と「先導的電子図書館プロジェクト」に選ばれ、古書、大型コレクションなど資料の電子化を全国に先駆けて行った。附属図書館は、地域社会や国内外の研究・教育機関と連携する学術情報の中核拠点だ。

### 整理

率、本を正しい順番通りに並べ直していく作業「シエルフリーディング」によって支えられている。中央図書館では、シエルフリーディングを毎週木曜日の、開館前の8時半から30分程度かけて行っている。



開館前の図書館で黙々と本を整理する図書館職員

## 高い開架率を支える

1つの書架に200冊近い蔵書が納められている。シエルフリーディングで、蔵書の背と配架されれば、目的のラベルを見ながら、間違っ

### 貴重図書

本学附属図書館の貴重書庫には多くの貴重図書が眠っている。現在、附属図書館の蔵書約240万冊のうち8099冊を、本学では資料的・芸術的価値の高い「貴重図書」「準貴重図書」に指定している。

## 歴史

現在、6館からなる本学附属図書館の起源は120年前に設置された東京師範学校の図書室にある。教科書編纂の開始、戦時体制、学園紛争、そして教育大の筑波への移転―師範学校から本学まで、時に厳しい時代の中で発展を遂げてきた図書館の歴史を振り返る。

## 時代と共に発展遂げる

■図書館の起源  
本学附属図書館は、日本で最初の学校図書館の一つといわれる。その起源は、東京師範学校(師範)に設置された図書室にまで遡る。図書室の設置には、明治5年(1882年)の背景があった。

## 研究

本学附属図書館は05年5月、図書館サービスの向上や職員能力向上、図書館利用教育について研究する研究開発室(室長Ⅱ西原清一)副館長、CS・教授)を設置した。同室は、システム情報工学研究科や図書館情報メディア研究科の教員など10人で構成されている。

## サービスの向上を

同室はプロジェクト単位で動いている。昨年は、電子図書館としてのあり方を検討する「電子図書館の高次機能に関する研究」、専門的な図書館職員の育成について検討する「大学図書館職員の専門性と人材育成のあり方に関する研究」、図書館利用教育を検討する「図書館リテラシー教育の



絵巻「大智度論」(提供 附属図書館)

## 「大智度論」など8099冊

中央図書館1階の貴重書展示室では、所蔵している貴重図書の実物や複製が展示されている。展示できない貴重図書の多くは、ネット上で公開している。

附属図書館の棟塚富士男課長補佐は「高精細画像を公開している貴重図書もある。ぜひ見てほしい」と話した。

学が設置され、同8年9月に、初めて独立した建物を持った附属図書館が完成した。新図書館は鉄筋コンクリート3階建て、書庫の収容量は約16万冊だった。その時点で蔵書数は21万4866冊だった。

### 東京教育大(教育大)と学園紛争

昭和24年6月の教育大10月1日、本学の開学と同時に設置されたが、教育大附属図書館で業務を行っていた。本学での業務開始は、49年4月1日、本学に点約25万冊だった。昭和30・40年代に、文献・資料センターの設置や図書館報の創刊、文庫復写サービス

### 開館時点で約13万冊

53年までに約70万冊の蔵書を送った。移送図書は中央図書館の完成まで第一学群棟・第二学群棟の学生自習室や体芸図書館などに置かれた。中央図書館は54年に開館、翌年に業務を始めた。蔵書数は中央図書館の開館時点で約13万冊だった。

# 反射鏡

今月のテーマ  
『人暮らし』

## 宿舎での戦い 乱れる食生活

廣生 容子(エシス1年)  
私が宿舎で一人暮らしを始めてから、もう3週間以上が過ぎました。この3週間は驚きの連続で、私の経験値はとて高くなりまし

ます驚いたのは、宿舎の棟の配置の複雑さです。夜の友達の家から自分の部屋

今も必死にこの戦いの敵に耐えています。  
一人暮らしをする、やはり食生活が乱れがちになってしまいます。私は一人暮らしをしてから自然なほうで、自分は健康だと思いが、自分でいませんでした。間歇血に行ったら、血が薄くて献血することが出来ませんでした。小・中・高の12年間皆勤賞で健康が自慢だった私には、あまりにも衝撃的な事実で、頭の中が真っ白になりました。その帰りにスーパーに行き、たくさん野菜ジュースを買いました。今、体内改造を目指して本気で頑張っています。

## 目標と実行力 自問自答する

丸雄 脩平(体専2年)  
新学期が始まって2週間が過ぎた。履修登録も終わり講義をひとつずつこなす生活が始まった。しかし今年の春はあらゆる面で異なる。中学一年から海外に住んでいた私にとって去年の今頃は、6月の卒業式を控え、学問、遊戯両面で高校生活のラスト数ヶ月を満喫している真っ只中だった。そして今の環境と最も

## 後回しの掃除 友人を招こう

大和田 桃子(社学3年)  
高校生のころ、父が突然一人暮らしについて語りだしたことがあった。内容はほとんど忘れてしまったが、一つだけ覚えているのは、食事をするという生

る経験をつめる。待つことも訪れないものは迎えるにせよ、単独で皆分かっていながらも意外とできていなかったりする。今の私の目標はアスレチックトレーナーの知識を増やすこと。そのために毎日最低限の勉強時間を設けることとした。勉強嫌いな私にすれば、大きな力だ。総合演習でトレー

ナーを目指す事と断言できなかったが、試してみたい。ことに切りつけたいのは、たまたま逃げただけだと再認識し、そこから始めることにした。「人の足を止めるのは絶望ではなく諦めである。人の足を止めるのは、希望ではなく意志である。友人から教わったこの言葉を胸に、これからは前へ突き進んでいこう。

家事の中で最も後回しになるのは掃除ではないだろうか。もちろん人にまかせることが、一人暮らしの大学生の場合、学校やアルバイトなどで部屋を出ている時間

は割と長い。部屋にいる短い時間の中で、緊急性の高いものから順に家のことをしていかないと、どうしても掃除まで手が回らないことがある。時間があっても、差が、自分の意志ひとつでなくてはならない。家族と一緒に暮らしていれば、そんなことになる前に誰かが部屋を片付けてくれる。もしは片付けられるように注意するだろう。どこにいても、その状態を続けることをやめさせよう。

梅雨はいつまでです  
次号のテーマは  
連絡先  
TEL 026-806-0900  
e-mail shinbun@sakurac.ac.jp

# 筑波時評

インターネットの利用で、この2〜3年爆発的に話題となってきたのがブログである。これは個人の体験や考えを日記風につづって公開するものであるが、一般の人が匿名で自由にこれに意見を言えるという仕組みがポイントである。この匿名性のため、メルマガと違ってさまざまなキャンペーンの話の盛り上げに有効である反面、無責任な発言で情報を混乱させてしまっている。

この問題を解消するものとして注目されているのがソーシャルネットワークワーキングサービス(SNS)である。考えてみると、人は日記、自分の興味に従って最新の情報を知り、自分の生活を安全かつ豊かにしようとしていくわけである。課外サークルなどいろいろなグループに所属したり、場面身を置いたりするのはそのための言葉である。その最も素朴な人々が「友達」である。それがある程度はつきりした目的を有する「グループ」となる。

SNSはそのような必要をインターネット上で満たしてくれる仕組みとして登場した。グループにふさわしい人が仲間をいかにたどらう。SNSへの入会は、仲間による紹介(招待制)、基本的な個人情報の公開を原則としている。これによって、情報の信頼性を保持し、ひいては身内

かなえてくれる仕組みとして登場した。グループにふさわしい人が仲間をいかにたどらう。SNSへの入会は、仲間による紹介(招待制)、基本的な個人情報の公開を原則としている。これによって、情報の信頼性を保持し、ひいては身内

文章だけでなく画像や映像、音楽や音声などのマルチメディアでデザインされたコンテンツが飛び交っている。電子メール、ブログ、SNSなどは、このような情報インフラを利用したコミュニケーションモデルである。付図は、これらの多様なモ

や日記を取り込むなどの複合化も起きている。サイバースペースは仮想すなわち非現実的な世界と思われているかもしれぬが、現実には、従来のコミュニケーションのあり方を急速に変化させている。見逃せない

のは、ネットコミュニケーションはまだビジネスチャンスも提供していることである。(参考) A-CCARTS 協会、2006年4月) さてあなたは、どのようなサイバースペースを自分の情報環境として選び、生活設計をしていかれるのか、SNSはそのような問いを投げかけている。

私の生まれ育ったモンゴルには、だだっ広い草原と、モンゴル相撲しかないと思われがちです。しかし実際はそうでもありません。首都ウランバートルなどは、規模は小さいですが、ごく普通の街として機能しています。「日本に来てさぞかしカルチャーショックを受けたでしょう」とよく言われますが、事前に勉強もしていましたが、さほど驚いたことはありませんでした。それでもいくつか衝撃を受けたことがあります。例えば、日本に来た時、友人の家にホームステイしていたのですが、お

は割と長い。部屋にいる短い時間の中で、緊急性の高いものから順に家のことをしていかないと、どうしても掃除まで手が回らないことがある。時間があっても、差が、自分の意志ひとつでなくてはならない。家族と一緒に暮らしていれば、そんなことになる前に誰かが部屋を片付けてくれる。もしは片付けられるように注意するだろう。どこにいても、その状態を続けることをやめさせよう。

く、優しいですし、人間も優しい人が多いです。モンゴル人も優しいですが、特に日本人の場合、知っている人に対してはむしろ、知らない人よりも、知らない人に対しては優しいと思われています。「礼儀」の文化が根付いていると思いますが、当

ならば本気で言います。ですから、こちらも必ず訪問しますが、日本人の場合、それをあいさつとして使っている時があります。最近判断するために、3回くらい言われてから初めて訪問するようになっています。他に特徴的なのが、日本人は責任感が強いということです。すごく細かいというのか、きっちりしています。ホームステイ先の友人に「来年の1月ひまか」と聞かれたのは驚きました。私など明日の予定も決まっていなくて、来年のことがわかるのでしょうか。日本人はすごく先のことを考えていて、感心することもあります。さすがに「自分のお墓を死ぬ前に買っている」というのを聞いた時には、笑ってしまいました。が、(モンゴル、大学院博士課程図書館情報メディア研究科1年)

「あいつ」なのか本気なのかわからなくて困りますが、今は慣れました。例えば、「今度うちに遊びに来てください」と言われた場合、モンゴル人

## 深い議論は「SNS」で ビジネスチャンスも提供

西原 清一  
西原 清一(CS教授)  
デルを、即時性と人間関係の2面から分類配置してみたものである。いわば、ブログは世界に向けて思い切り叫びたい時に、一方、SNSは深い議論を親しく繰り返す時に向いていると言える。両者に共通していることは、「身の回りだ

ていてSNSには「友達グループ」というものがある。これは、例えば山のサークルの中に写真の同好会を作るといいうように、グループ内グループを作る仕組みである。SNSの中のグループの階層は自在に進化していくだけなく、メール

意欲を強固なものにしていくわけである。高速計算や大量データの処理を行う機械として登場したコンピュータは、インターネットと結びつくことによって、コミュニケーションを支援する強力な道具となった。インターネットの上では

SNS	遠隔医療
ブログ	チャット
電子メール	IP電話
掲示板(BBS)	グループウェア
ニュースグループ	オンラインゲーム
メルマガ	eラーニング
ネットオークション	ネット配信
Webサイト	Web検索
ファイル交換	VOD
電子図書館	ネット銀行
オンラインショッピング	ネット証券
電子決済	

「生活していくのに不可欠でないことは自然とおろそかになる」ということだ。それから数年経った今、私は毎日のようにその言葉思い出している。

「日本に来てさぞかしカルチャーショックを受けたでしょう」とよく言われますが、事前に勉強もしていましたが、さほど驚いたことはありませんでした。それでもいくつか衝撃を受けたことがあります。例えば、日本に来た時、友人の家にホームステイしていたのですが、お

は割と長い。部屋にいる短い時間の中で、緊急性の高いものから順に家のことをしていかないと、どうしても掃除まで手が回らないことがある。時間があっても、差が、自分の意志ひとつでなくてはならない。家族と一緒に暮らしていれば、そんなことになる前に誰かが部屋を片付けてくれる。もしは片付けられるように注意するだろう。どこにいても、その状態を続けることをやめさせよう。

く、優しいですし、人間も優しい人が多いです。モンゴル人も優しいですが、特に日本人の場合、知っている人に対してはむしろ、知らない人よりも、知らない人に対しては優しいと思われています。「礼儀」の文化が根付いていると思いますが、当

ならば本気で言います。ですから、こちらも必ず訪問しますが、日本人の場合、それをあいさつとして使っている時があります。最近判断するために、3回くらい言われてから初めて訪問するようになっています。他に特徴的なのが、日本人は責任感が強いということです。すごく細かいというのか、きっちりしています。ホームステイ先の友人に「来年の1月ひまか」と聞かれたのは驚きました。私など明日の予定も決まっていなくて、来年のことがわかるのでしょうか。日本人はすごく先のことを考えていて、感心することもあります。さすがに「自分のお墓を死ぬ前に買っている」というのを聞いた時には、笑ってしまいました。が、(モンゴル、大学院博士課程図書館情報メディア研究科1年)



### 日本人の優しさと責任感

日本人の優しさと責任感  
日本人はすごく先のことを考えていて、感心することもあります。さすがに「自分のお墓を死ぬ前に買っている」というのを聞いた時には、笑ってしまいました。が、(モンゴル、大学院博士課程図書館情報メディア研究科1年)

ならば本気で言います。ですから、こちらも必ず訪問しますが、日本人の場合、それをあいさつとして使っている時があります。最近判断するために、3回くらい言われてから初めて訪問するようになっています。他に特徴的なのが、日本人は責任感が強いということです。すごく細かいというのか、きっちりしています。ホームステイ先の友人に「来年の1月ひまか」と聞かれたのは驚きました。私など明日の予定も決まっていなくて、来年のことがわかるのでしょうか。日本人はすごく先のことを考えていて、感心することもあります。さすがに「自分のお墓を死ぬ前に買っている」というのを聞いた時には、笑ってしまいました。が、(モンゴル、大学院博士課程図書館情報メディア研究科1年)

# 文部科学大臣表彰

## 本学から7人が受賞

### 科学技術賞に小林教授ら

#### タンパク質量産に成功



小林達彦教授

科学技術に関する研究開発を行い、顕著な成果を収めた研究者を顕彰する平成18年度科学技術分野の文部科学大臣表彰で、本学の生命環境科学研究科に所属する教員ら7人が3部門で受賞した。4月20日、虎ノ門パストラル(東京・港区)で表彰式が行われた。

#### バイオカフェ

#### お茶とお菓子と先端科学

文部科学大臣表彰科学技術研究部門では、小林達彦教授(生物機能、橋本義輝講師(同)、東端啓貴元助手(現・東洋大講師)、戸来幸男COE博士研究員)が受賞した。同理解増進部

一般の人にも大学の研究内容を知ってもらおうと、生命環境科学研究科の渡辺和男教授(生命産業)ら教員4人が4月25日、「バイオカフェ」を第2学群小食堂で開催した。当日は地域住民を含む35人が参加し、お茶やお菓子を楽しみながら、講演に聞き入り、渡辺教授は、「食物と植物の多様性」と題して講演を行った。東アフリカの口承料理など世界の食文化を紹介し、「都市化が進むにつれて食の画一化が進んでいる」と、食物の多様性の危機を訴えた。



1978年3月20日東京砂防会館ホールで開催された「新しい体操・松延博の世界」。観衆約1000人の中に、筑波大学3年生であった私がいた。一般的に体操は健康やシェイプアップなど何かの目的を持って身体を活動させるものである。しかし、松延博先生(東京教育大学名誉教授)は体操を「スポーツ」のひとりでないと主張する。つまり、サッ

### 知行一致の難しさ実感

### 「体操」のイメージ覆す

やかに、そしてリズムミカルに躍動し、その主張を自ら実践で表した。私にとって「体操」の堅苦しいイメージをぶち壊された記念すべき日であった。以来、今に至るま

と。常識にとらわれず、自らの信じる道をまっすぐに突き進まれた。もう一つは「知行一致」。立派な理屈を述べることは易い、しかしながら自ら実践することは難しい。医

今、私は「体操(注1)は競争しない」という常識を破ろうと試みている。競うことは楽しい。人が乗ることのできる大きなボールを使って新しいルールを作



長谷川 聖修

注1..一般体操を指す。オリンピック種目の体操は正式には「体操競技」のこと。

はせがわ・きよなお 人間総合科学研究科助教。1995年生まれ。81年本学大学院体育研究科修了。東海大助手などを経て93年から本学体育学学講師。専攻は運動方法学。

### 天上大風 かけ声交え演奏鑑賞



演奏を披露する無紋塾の学生ら(開学記念館で)

### 地域との交流目指す つくば芸術祭 本学24団体が参加



悪天候ながら熱い演奏が行われた(アイアイモール広場で)

芸術系サークルの発表の場であり、地域の人々との

交流を目指した第22回つくば芸術祭主催・芸術系サークル連合会が4月29日から、100人以上が訪れた。10回目の記念企画として、天上大風のこれまでの歴史を振り返る写真も展示された。

6団体が参加し、演奏や展示、体験コーナーなどが行われた。当日は曇天下ながら、100人以上が訪れた。10回目の記念企画として、天上大風のこれまでの歴史を振り返る写真も展示された。

は「オーケストラ村」など4団体が合同ライブを開催した。当日はあいにくの天候で、雨により途中1時間ほど演奏が中断。演奏が再開されると、50人ほどの観客は立ち見で盛り上がった。フィナーレでは筑波音楽協会など4団体による恒例の合奏が行われた。



### 教育の目的を問い直す

### 学校と社会

ジョン・デューイ著

ジョン・デューイ(John Dewey) 子どもの自発的な学習と、生活が営まれるべき場所となるべきである、との

提案を行った。「学校と社会」のなかで、デューイは、このように、実験学校の教育研究の報告を行うとともに、教育について、新たに問題提起し、自論を披瀝している。

この実践学校での実践を踏まえて、学校改革のために、学校を、社会の変化から孤立せず、小社会であるべきであり、学校と社会との間に相互作用が行われなければならない。また、子どもに好適な図書として、一読を勧める。(岩波書店・600円)

教育基本法の改正が国会審議の俎上に載せられようとしている今、改めて、「教育」の目的とは何であるのか、また、「学校」はその目的達成のためにいかに在るべきなのか、を教育に携わる者にもとより、教育に関心のある者、いや日本国民がこぞ、問い直すことも重要なのではないだろうか。「学校と社会」を読めば、これらの設問に対する答えの糸口を見つめることができる。教育を「学校」を考へるのに好適な図書として、一読を勧める。(岩波書店・600円)

# 学類・専門学群長が薦める一冊

大学時代には自由な時間がたくさんある。新緑が映える五月、読書に浸ってみてはいかがだろうか。各学類・専門学群長にお薦めの一冊を紹介してもらった。

## 第一学群

### 人文 古家 信平



「日本人の死のかたち」 伝統儀礼から靖国まで(波平恵美子著、朝日新聞社、2004年、1260円) 「日本人の死のかたち」は確認されても、死体がないと遺族と死者の関係があいまいなままに...

### 自然 岡本 健一



「嫌われ元素は動き者」(日本化学会編、大日本図書、1992年、1477円) 「嫌われ元素は動き者」は、化学物質が関与して問題を引き起こした世間的に...

かた大きいかの反映にほかに過去の記憶と格闘しているのです。

## 第二学群

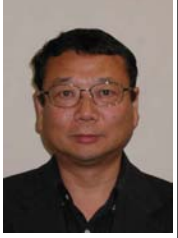
### 比文 竹村 喜一郎



「カルチュラル・ターン」(吉見俊哉著、人文書院、2003年、2835円) 「カルチュラル・ターン」(文化論的展開)とは文化研究の最先端で生じている...

「JFK——ケネディ暗殺犯を追い」(ジム・キヤリン著、岩瀬孝雄訳、早川書房、1992年、754円) 「JFK——ケネディ暗殺犯を追い」は、ケネディ大統領暗殺を単独犯によるものとする政府の見解に疑念を抱き、多くの困難や妨害に遭いながらも独自の調査で真犯人を突き止め、告発にいたる物語です。

### 日日 江藤 秀一



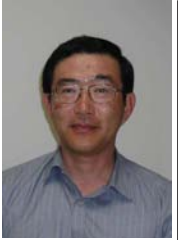
「ガリバー旅行記」(J・スウィフト著、小学館、1997年、1680円) 「ガリバー旅行記」とは、実は大人のための物語なのです。最初に漂着する小人の国のリリパットはイングリッドのことで、登場人物にもモデルがいます。

### 人間 宮本 信也



「支店長はなぜ死んだか」(上前淳一郎著、文藝春秋、1982年) 「支店長はなぜ死んだか」(上前淳一郎著、文藝春秋、1982年) 新聞に報道された記事が、いかに事実と異なることがあるかという実例を4活において、客観的に正しいと思っている事柄が別の視点から見ると全く違う様相を示すことを教える...

### 生資(代行) 星野貴行



「もしも」(石川雅之著、講談社、イブニング連載中、単行本1:2巻発売中、580円) この本は「マンガ」だ。菌が肉眼で見える青年とある農大の話だが、どこかの大学の書籍部では専門書の棚に並べられていたという「噂」もある。微生物が専門の私が聞いたことがない菌の名前が出てくる。第1巻の帯に再生紙使...

### 工シス 安信 誠二



「プログラム書法」(第2版)(カーニハン、プロウガ著、木村泉訳、共立出版、1982年、3000円) この本は、文学書ではないが、プログラミングに関する基本的なマナーが述べられている。私自身、膨大な実システムのプロログラムを書き研究室で学生を指導して、初心者の戸惑いを感じる度に、読むように薦めている。書き方は存在する。こんな本もあるのだと、見ただけでも手に取って欲しい。

### 情報 北川 博之



「ウェブ進化論」 本場の進化はこれからはじまる(梅田望夫著、ちくま書房、2006年、777円) 昨今の情報技術の急激な進展はIT革命とも呼ばれ、人間社会のあらゆる部分も平易に書かれており、学類や専門を問わずこれらの激変の時代を生き抜いていかなければならない学生諸君に一読を薦めます。

## 第三学群

### 社工 吉田 雅敏



「資本論の世界」(内田義彦著、岩波書店、1966年、735円) 1966年に出版された「資本論の世界」は、大学2年のときに私がマルクス経済学から近代経済学の勉強して成立している)により成立しているという仏教の基本思想の「建設的な面」に力点を置いて説いている点に特徴がある。この世界観は自然科学・生物学の自然観ともマッチする。本書は、多くの経典の解説を手がけた著者が最後のメッセージを世に送った人の指図書として、仏教の入門書として理系学生にもおすすめの一冊だ。

### 生物 佐藤 忍



「最後の『般若心経』講義」(松原泰道著、地湧社、1995年、1680円) 法事の際に耳にするお経に興味を抱き、仏教を理解してみようと初めて向き合ったのが般若心経(ほんにやしんぎょう)だ。色即是空(しきそくぜく)のフ

「最後の『般若心経』講義」(松原泰道著、地湧社、1995年、1680円) 法事の際に耳にするお経に興味を抱き、仏教を理解してみようと初めて向き合ったのが般若心経(ほんにやしんぎょう)だ。色即是空(しきそくぜく)のフ

「最後の『般若心経』講義」(松原泰道著、地湧社、1995年、1680円) 法事の際に耳にするお経に興味を抱き、仏教を理解してみようと初めて向き合ったのが般若心経(ほんにやしんぎょう)だ。色即是空(しきそくぜく)のフ

国際 北脇 信彦



「エンジンアリング トッポロ」(Trudy E. Bell 著、Janie Foulie 編、江崎玲於奈訳、オーム社、2000年、4725円)

「鏡のなかの世界」(朝永振一郎著、みすず書房、1965年、附属図書館蔵)

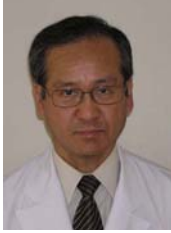
工基礎 大嶋 建一



「鏡のなかの世界」(朝永振一郎著、みすず書房、1965年、附属図書館蔵)

専門学群

医学 大塚 藤男



「生・老・病・死を考える」(15章)―実践・臨床人間学入門(庄司進一編著、朝日新聞社、2003年、)

看護・医療科学 浦山 修



「生・老・病・死は人間にとって避けることのできない現実ですが、それを安んずる死や脳死などの具体的なテーマの中で考えています。正しい答えがあるわけではなく、答え自体の存在しない問いについて考えてみるのも、現在の皆さんにとって意義深いことだと思います。本書から、さらにフランスのアベロンの森で発見された14歳くらいの少年は5年間の周囲の努力にもかかわらず簡単な言葉すら覚えられなかった。言葉を獲得する「機会の窓」は青年期には閉じてしまう。皆さんの「機会の窓」はまだ開いているだろうか。

芸術 西川 潔



「茶の本」(岡倉覚三(天心)著、種谷秀昭訳、講談社、1994年、882円)

体育 野村 良和



「健康論の誘惑」(佐藤純一著、文化書房、2000年、3990円)

国情 石井 啓豊



「社会科学をひらく」(イマニュエル・ウォーラー斯坦著、山田鋭夫訳、藤原書店、1996年、1890円)



「鏡のなかの世界」(朝永振一郎著、みすず書房、1965年、附属図書館蔵)



メタンガスのプラント (古河市)

「生・老・病・死を考える」(15章)―実践・臨床人間学入門(庄司進一編著、朝日新聞社、2003年、)

「茶の本」(岡倉覚三(天心)著、種谷秀昭訳、講談社、1994年、882円)

「健康論の誘惑」(佐藤純一著、文化書房、2000年、3990円)

「社会科学をひらく」(イマニュエル・ウォーラー斯坦著、山田鋭夫訳、藤原書店、1996年、1890円)

「卒業生からの手紙」(筑波大生のみなさん、)

「友達は一生涯の『宝物』」(塚田理奈さん)

「卒業生からの手紙」(筑波大生のみなさん、)

「生・老・病・死を考える」(15章)―実践・臨床人間学入門(庄司進一編著、朝日新聞社、2003年、)

「茶の本」(岡倉覚三(天心)著、種谷秀昭訳、講談社、1994年、882円)

「健康論の誘惑」(佐藤純一著、文化書房、2000年、3990円)

「社会科学をひらく」(イマニュエル・ウォーラー斯坦著、山田鋭夫訳、藤原書店、1996年、1890円)

「卒業生からの手紙」(筑波大生のみなさん、)

「友達は一生涯の『宝物』」(塚田理奈さん)

「卒業生からの手紙」(筑波大生のみなさん、)

「生・老・病・死を考える」(15章)―実践・臨床人間学入門(庄司進一編著、朝日新聞社、2003年、)

「茶の本」(岡倉覚三(天心)著、種谷秀昭訳、講談社、1994年、882円)

「健康論の誘惑」(佐藤純一著、文化書房、2000年、3990円)

「社会科学をひらく」(イマニュエル・ウォーラー斯坦著、山田鋭夫訳、藤原書店、1996年、1890円)

「卒業生からの手紙」(筑波大生のみなさん、)

「友達は一生涯の『宝物』」(塚田理奈さん)

「卒業生からの手紙」(筑波大生のみなさん、)

「生・老・病・死を考える」(15章)―実践・臨床人間学入門(庄司進一編著、朝日新聞社、2003年、)

「茶の本」(岡倉覚三(天心)著、種谷秀昭訳、講談社、1994年、882円)

「健康論の誘惑」(佐藤純一著、文化書房、2000年、3990円)

「社会科学をひらく」(イマニュエル・ウォーラー斯坦著、山田鋭夫訳、藤原書店、1996年、1890円)

「卒業生からの手紙」(筑波大生のみなさん、)

「友達は一生涯の『宝物』」(塚田理奈さん)

「卒業生からの手紙」(筑波大生のみなさん、)

「生・老・病・死を考える」(15章)―実践・臨床人間学入門(庄司進一編著、朝日新聞社、2003年、)

「茶の本」(岡倉覚三(天心)著、種谷秀昭訳、講談社、1994年、882円)

「健康論の誘惑」(佐藤純一著、文化書房、2000年、3990円)

「社会科学をひらく」(イマニュエル・ウォーラー斯坦著、山田鋭夫訳、藤原書店、1996年、1890円)

「卒業生からの手紙」(筑波大生のみなさん、)

「友達は一生涯の『宝物』」(塚田理奈さん)

「卒業生からの手紙」(筑波大生のみなさん、)

# 茗溪山脈

## 体育・スポーツ列伝

### 阿部三亥

阿部三亥は1911年(明治44年)、福島県相馬郡(現在の福島県相馬市)で、農家の三男として生まれた。「三亥」という名前はこの年が多年であること由来していると思われる。相馬中学、福島師範二部を経て、1932年に東京高等師範学校体育科に入学、ア式蹴球部に入部している。1936年には東京文理科大学心理学に入学、さらに1940年に慈恵医科大学に進学した。卒業後は高師の校医、医局主任を務め、高師教授に就任。戦後は

## 中筑定期戦を創設

## 苦難越え学問に大成

利足の相関に就いて「医学博士号を得ている。高師を卒業した後も進化したのは、体育を学問として成立させるために心理学や医学が欠かせないと考えたためだった。当時、体育は学問としては認められないという。体育は『教養』の作成や、私費を投じて学校体育学会を主催するなど阿部の活動は多岐にわたった。

また、現在の保健管理センターの前身である健康相談所の所長を務め、学生や教職員の健康管理にも心を砕いた。厚生会

「風潮があり、文理科大と高師の統合を控えた1948年、英文学者福原麟太郎(東京教育大名誉教授)は東京文理科大学新聞に掲載されたインタビューで、体育学科を持つことに否定的な見解を示した。阿部は雑誌「保健体育」の指導要領

に所属していた医局を独立させ、名称も健康相談所へと変更した。レントゲン装置を導入するなど設備の整備にも力を入れた。学生の定期健康診断に血圧測定や尿検査を取り入れ、職員健康診断には成人病対策として心電図も導入している。レントゲンで撮影した写真は、自ら一枚一枚チェックしていたという。亡くなるまで20年にわたって、週3回の診療を続けた。



1936年高師蹴球部。右端が阿部三亥(東京教育大学サッカー部誌より)

## 男子バスケットボール部

### バスケットで国際交流を図る

### トロント大と初の交流試合



東北1位の東北学院大や昨年のインカレ王者である東海大も参加し、トロント大を含む4校が対戦した。本

国際交流と選手の技術向上を目指して、「筑波大学トロント大バスケットボール国際交流試合」が5月4-7日、総合体育館で行われた。交流試合には

本学とトロント大が対戦した5日は、40人を超える留学生や地域住民が来場した。試合前の練習でトロント大の選手がダンクシュートを決める。会場にどよめきが響いた。練習後、日加両国の国歌斉唱に続いて、試合が開始された。

両チームは対照的なプレースタイルを繰り広げた。トロント大は平均身長190センチの体格を活かしてゴール下を攻め、本学はスピードを生かした攻撃とねばり強いディフェンスで対抗した。

最終盤、本学はトロント大に13点差をつけられ、3ポイントシュートなどで点差を詰めていったが、あと二歩及ばず4点差で敗れた。

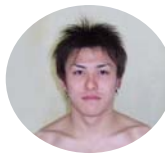
試合後、吉田健司監督(体育・講師)は「本学のペースでバスケットが出来た。勝てても不思議はなかった」と

## 日本選手権

## 岡崎は代表入り逃す

### 50、1000以下で3位入賞

## 水泳



岡崎晃一郎



佐藤佑樹

今年8月のパンパシフィック大会、来年3月の世界選手権と、2つの世界大会の日本代表選考を兼ねた第82回日本選手権水泳競技大会が4月20-23日の4日間、東京辰巳国際水泳場(江東区)で行われた。本学からは27人が参加したが、惜しくも日本代表入りを果たせなかった。

自由形で西尾裕樹(同1年)が8位に入賞した。岡崎と佐藤は6月に欧州で開催されるユース・ヨーロッパランプリサーキット2006大会代表に選ばれた。

では、「前半から積極的に進めた」と話すように、50メートルまで3位につけ、そのままゴールした。それでも、タイムは1分1秒65で、派遣標準記録IIに0・11秒及ばなかった。

3位と、あと一歩のところまで日本代表入りを逃した。岡崎の持味はスピード。スタートで出遅れても、ライバルたちを圧倒する速さで追い抜く。加えて、最近では「レース展開ができるようになった」という。象徴的だったのは200メートルで最後尾の8位だった。ラスト50メートルで一気に追いつき、5位に食い込んだ。日本代表入りは逃したが、6月には欧州でユース大会がある。「日本選手権は、悔しい思いをした。ユース大会で経験を積み、9月のインカレでは必ず優勝する」。大学王座に向けて意欲を見せた。

2000以下で日本選手権3位の佐藤は、パンパシフィック大会代表の有力候補だった。一周回のプレ

2季連続の優勝を狙った男子は、早稲田大と対戦。全勝同士の対決となったが、33-34で惜しくも敗れた。序盤から一進一退の攻防が続いた。勝ち越せば追いつかれる展開で、前半を18-19の1点ヒヤインドで折り返すと、後半、主将の海道衛秀(体専4年)を軸に、25分には33-31と2ポイントを奪った。この点差を残り5分守りきりたかったが、「若さが出た」と大西武三監督(体育・教授)の言うように、昨年と大幅にレギュラーが入れ替わったチームは、3連続得点を許し、1点差で敗れた。現在本学は6勝1敗の3位。

## 男子 東海大に及ばず2位

春季関東バレーボールリーグが始まった。男子バレーボール部は4月23日現在、6戦行い5勝1敗で2位。女子は、6戦行い3勝

## 女子 苦戦続き3位

3敗で3位と、共に苦戦を強いられている。

## ハンド

今年の関東学生春季リーグが4月15日から開幕し、共に惜敗した。

## 全勝対決制せず

男子3位、女子2位

## 記録ファイル

関東学生サッカーリーグ



# 日本女子学生選抜大会 学泉大下し日本一に

## 19年ぶり2度目の優勝

### 櫻田が最優秀選手に

**バスケット**  
泉大を破り、19年ぶりの2度目の優勝を果たした。昨年インカレ上位8校の新チームが頂点を競う第23回日本女子学生選抜バスケットボール大会が4月21日から23日までの3日間、国立代々木競技場第2競技場で行われた。決勝で愛知学

泉大を破り、19年ぶりの2度目の優勝を果たした。昨年インカレ上位8校の新チームが頂点を競う第23回日本女子学生選抜バスケットボール大会が4月21日から23日までの3日間、国立代々木競技場第2競技場で行われた。決勝で愛知学



3Pシュートを放つ櫻田  
(4月23日、国立代々木競技場第2体育館で)

バスケット  
泉大を破り、19年ぶりの2度目の優勝を果たした。昨年インカレ上位8校の新チームが頂点を競う第23回日本女子学生選抜バスケットボール大会が4月21日から23日までの3日間、国立代々木競技場第2競技場で行われた。決勝で愛知学

大会で勝てたことほうれし」と語った。内山監督は「留学生や大型選手が多い私大を相手によくやれたと、今大会の結果について満足そうに語った。また新チームについて、「粘り強いディフェン

大会で勝てたことほうれし」と語った。内山監督は「留学生や大型選手が多い私大を相手によくやれたと、今大会の結果について満足そうに語った。また新チームについて、「粘り強いディフェン

## 平岡、法兼が準優勝

### W杯代表に秋本が選出

#### 柔道

カップ代表には、本学から秋本が選ばれた。決勝に進出した平岡は江種辰明(警視庁)と対戦した。一技にキレがなかったと語る平岡は、払い巻き込みをかけられ優勢負けを喫した。「次の大会までに技を磨いておかなければ」と語り、悔しさをにじませた。法兼は今大会、風邪などで体調を崩し思うように動けない試合が続いた。それでも決勝に進出し、河原正太(京葉ガス)と対戦した。しかしねばり強く組み分け、回戦で敗退した。ワールド

## 成迫、自己新で3位

### 世界陸上に向けて好発進

#### 陸上



成迫健児

世界のトップアスリートが集う「国際グランプリ陸上」が5月6日、大阪長居陸上競技場で行われた。本学から、成迫健児(体育専4年)と谷川聡(体育・講師、チーム・スノアスレチック)の2人が出場した。400m障害に出場した成迫は47秒93で自己記録を更新し、3位に入賞した。日本人で47秒台を出したのは、為末大(A.P.F.)に続き2人目だった。同じく400m障害に出場した谷川は、劉昇(中国)ら強豪に力及ばず、7人中7位だった。

この日は、ライバルの為末が400mに出場したため、昨年世界陸上王者のB・ジャクソンや、同2位のJ・カーターに、成迫がどこまで迫れるかが注目された。第4レーンの成迫は、スタートから先頭に立った。しかし中盤から終盤にかけてジャクソンの猛追に屈し、3位だった。

この日は、ライバルの為末が400mに出場したため、昨年世界陸上王者のB・ジャクソンや、同2位のJ・カーターに、成迫がどこまで迫れるかが注目された。第4レーンの成迫は、スタートから先頭に立った。しかし中盤から終盤にかけてジャクソンの猛追に屈し、3位だった。

## 伊藤が5位で日本代表に

#### 卓球

世界大学卓球選手権選考会  
7月にスロベニアで開催される第16回世界大学卓球選手権の選考会が4月15、16の両日、大正大学体育館(東京・豊島区)で行われた。本学からは伊藤みどり(体育専3年)が参加し、伊藤が日本代表に選ばれた。

この連戦が続き、体調が万全ではない中、自己記録を更新し、47秒台を出したが「日本記録の47秒89に届かなかったのが悔しい」と、記録にこだわりを見せた。同大会が行われた大阪府

関東学生新人卓球選手権大会が4月27、28の両日、駒澤体育館(東京・世田谷区)で開催され、桑原元希(同1年)がシングルスでベスト8入りした。桑原は準々決勝で専修大の森田翔樹に敗れた。桑原は「レシーブからの展開プレーを強化したい」と語った。

「自分がテニスでどこまで行けるかわからなかった。4年間で結果を出してプロになりたい」。昨年、全日本ジュニア選抜室内テニス選手権大会で優勝した実力を持ち、プロ入りも視野に入れる前澤かおる(体育専1年)が、本学硬式庭球部に入部した。夏のインカレでタイトルを狙える期待される新星だ。

「自分がテニスでどこまで行けるかわからなかった。4年間で結果を出してプロになりたい」。昨年、全日本ジュニア選抜室内テニス選手権大会で優勝した実力を持ち、プロ入りも視野に入れる前澤かおる(体育専1年)が、本学硬式庭球部に入部した。夏のインカレでタイトルを狙える期待される新星だ。

「自分がテニスでどこまで行けるかわからなかった。4年間で結果を出してプロになりたい」。昨年、全日本ジュニア選抜室内テニス選手権大会で優勝した実力を持ち、プロ入りも視野に入れる前澤かおる(体育専1年)が、本学硬式庭球部に入部した。夏のインカレでタイトルを狙える期待される新星だ。

「自分がテニスでどこまで行けるかわからなかった。4年間で結果を出してプロになりたい」。昨年、全日本ジュニア選抜室内テニス選手権大会で優勝した実力を持ち、プロ入りも視野に入れる前澤かおる(体育専1年)が、本学硬式庭球部に入部した。夏のインカレでタイトルを狙える期待される新星だ。



## 顔

### 硬式庭球部期待の新人 前澤かおる(体育専1年)

だ。テニスを始めたのは小学3年の時。両親が趣味でやっていたのがきっかけとなった。小学5年の時に関東大会女子シングルスで優勝。「そのころは楽しいのがメインで、強くなるという意識はなかった。中学1年の時、東京のクラブから誘いを受け、週に1度東京で練習するようになった。その2月には関東大会で優勝。「インターハイ」に出場するには群馬の方が楽。だけど、強くなるには東京」と悩んでいた結果、中学3年の時にテニスの強豪・共栄学園に転校し、下宿しながらテニスを打ち込んだ。

「プロの試合を見ても、数年後にはこの場所で戦いたいと感じる」という前澤。夏のインカレに向けて、プレッシャーに負けず自分らしい「プレー」で結果を狙っていく。本

## インカレ制してプロ目指す



「自分がテニスでどこまで行けるかわからなかった。4年間で結果を出してプロになりたい」。昨年、全日本ジュニア選抜室内テニス選手権大会で優勝した実力を持ち、プロ入りも視野に入れる前澤かおる(体育専1年)が、本学硬式庭球部に入部した。夏のインカレでタイトルを狙える期待される新星だ。

は、消極的な柔道をとったとして指導をとられ、そのまま優勢負けした。試合後、杉本は「まだ研究不足。組み手が課題だ」と、悔しさをかみしめた。福見は時間切れまで組み合ったが決め手に欠け、判定負けした。中山は松崎みずほ(コマツ)に払った。松崎は「腰の技ありをとられ、優勢負けした。前澤、塚田の約り手を殺し、内股をねらったが、塚田に右奥襟をつかまれ、開始4分30秒、塚田の問合いで試合を運ばれ、技が出ない杉本は指導をこられた。結局両者決め技がなく、3-0で判定負けした。

### 皇后杯

### 杉本、3位入賞 塚田に判定負け

賞した。2回戦から出場した杉本は、東海大の今井優季を開始1分36秒、内股で一本勝ち。3回戦でも岡田結珠(三井住友海上火災保険)を開

賞した。2回戦から出場した杉本は、東海大の今井優季を開始1分36秒、内股で一本勝ち。3回戦でも岡田結珠(三井住友海上火災保険)を開

は、消極的な柔道をとったとして指導をとられ、そのまま優勢負けした。試合後、杉本は「まだ研究不足。組み手が課題だ」と、悔しさをかみしめた。福見は時間切れまで組み合ったが決め手に欠け、判定負けした。中山は松崎みずほ(コマツ)に払った。松崎は「腰の技ありをとられ、優勢負けした。前澤、塚田の約り手を殺し、内股をねらったが、塚田に右奥襟をつかまれ、開始4分30秒、塚田の問合いで試合を運ばれ、技が出ない杉本は指導をこられた。結局両者決め技がなく、3-0で判定負けした。

は、消極的な柔道をとったとして指導をとられ、そのまま優勢負けした。試合後、杉本は「まだ研究不足。組み手が課題だ」と、悔しさをかみしめた。福見は時間切れまで組み合ったが決め手に欠け、判定負けした。中山は松崎みずほ(コマツ)に払った。松崎は「腰の技ありをとられ、優勢負けした。前澤、塚田の約り手を殺し、内股をねらったが、塚田に右奥襟をつかまれ、開始4分30秒、塚田の問合いで試合を運ばれ、技が出ない杉本は指導をこられた。結局両者決め技がなく、3-0で判定負けした。

は、消極的な柔道をとったとして指導をとられ、そのまま優勢負けした。試合後、杉本は「まだ研究不足。組み手が課題だ」と、悔しさをかみしめた。福見は時間切れまで組み合ったが決め手に欠け、判定負けした。中山は松崎みずほ(コマツ)に払った。松崎は「腰の技ありをとられ、優勢負けした。前澤、塚田の約り手を殺し、内股をねらったが、塚田に右奥襟をつかまれ、開始4分30秒、塚田の問合いで試合を運ばれ、技が出ない杉本は指導をこられた。結局両者決め技がなく、3-0で判定負けした。

は、消極的な柔道をとったとして指導をとられ、そのまま優勢負けした。試合後、杉本は「まだ研究不足。組み手が課題だ」と、悔しさをかみしめた。福見は時間切れまで組み合ったが決め手に欠け、判定負けした。中山は松崎みずほ(コマツ)に払った。松崎は「腰の技ありをとられ、優勢負けした。前澤、塚田の約り手を殺し、内股をねらったが、塚田に右奥襟をつかまれ、開始4分30秒、塚田の問合いで試合を運ばれ、技が出ない杉本は指導をこられた。結局両者決め技がなく、3-0で判定負けした。

### 本学の防犯対策

つくばエクスプレスが昨年8月に開通し、東京とのアクセスが非常に良くなった反面、つくばでは空き巣狙いなど都市型犯罪の増加が懸念されている。そこで、本学の防犯対策や安全確保のあり方について迫った。

■本学周辺は危険  
つくば市の窃盗、粗暴



文士館では巡回を強化している

## ズムアップ

指摘する。  
2月上旬、人文・社会学系棟5階のソファで午後11時ごろ、30〜40歳の学生と見えない男性が寝ていたことが確認されている。第一学群警備室に務める警備員は「学内だから安全など考えは減っているもの、学内では窃盗の被害が最も多く、特に天久保地区で犠牲になる凶悪犯罪件数は減っていない」と話した。

## 地域と連携し、防犯を学生の意識向上が必要

多発している。無防備なキャンパス「開かれた大学」という理念により門や扉がない本学では、大学構内と大学周辺の危険度に差はない。「他大学のように入り口で検問がないため、誰でも入ってしまう」と学生生活支援委員の足立和隆助教(体育)は「立和隆助教(体育)は」

追越・平砂地区を、午後6時から8時までの2時間かけて歩き、無灯火の自転車でライトを点けるように注意をするなど、防犯意識の向上を図った。昨年は毎回、教職員や警備員など約20人が参加したが、学生の参加は最高でも5人だった。パトロールを担当する五木田喜男総務課長補佐は「学内パトロールに対する学生の関心が低い。もっと学生の防犯意識が必要だ」と話す。

「地域との連携を強化」セーフティプロジェクトでは昨年、犯罪の防止を目的に学内パトロールを始めた。11月から3月にかけて月1、2回、一の矢、学群棟周辺地区、トロールを担当する五木田喜男総務課長補佐は「学内パトロールに対する学生の関心が低い。もっと学生の防犯意識が必要だ」と話す。

つくば市近隣の本学生によるインターンシップ環境を活性化しようと1月に設立された「つくばインターンシップ・コンソーシアム」は、学生に向けた説明会を4月12日、19日、26日、5月10日に開催した。説明会では、就職課の久保田優子専門員、南就助教(数物)がインターンシップを行うまでの流れや仕事概要について約20分説明を行い、学生からの質問、希望業界を受け付けた。現在受け入れられている企業は申し込みがあり次第、志望学生と間でマッチングを行う。受け入れ企業は中小企業が多く、社長に話しかけるなど会社の全体が見えやすい。希望の登録はホームページからできる。

「安易な言い換えに疑問」  
京都府宮津市では現在、市が配布したする妨げであり、碍は自己に対する妨げ広報誌を巡って論争が起きている。このだという。障がいが本来の書き方であったという、呼び換え自体には異論はない。だが、福祉関係者の中には、言い換えをしただけで満足を得て、障害者の抱える問題は解決されたかと思ってしまう。本学では、身障者向け駐車場を健常者が占拠することも少なくない。バリアフリーも進んでいる。だが、学外へ出てみると、身障者向け駐車場の前に健常者の車が居座っているし、横断歩道と歩道の間に段差がある。先月取り上げたように入り口に階段がある店舗も多い。何も問題は改善されていない。

### 厚生事業

## 一の矢、平砂で営業開始 店内にテレビ電話を設置

昨年11月に売店業務など一任されて、売店業務に参入したホットスパ(本社)は4月20日、一の矢、平砂の各地区で営業を開始した。



4月20日に営業を開始した一の矢売店

一の矢売店では、卵や野菜などの生鮮食品や雑誌、コミックスも販売している。酒類、たばこの販売は大学側の要望もあり行わない。売店を利用した学生(1基礎1年)は「品揃えは一人暮らしには十分。これからの利用したい」と話した。

また、5月23日から同地区の店内にテレビ電話を設置し、チケットの手配などのサービスを行うことも予定している。

追越地区では、アスベストの除去工事を待って営業を開始する。堀口部長は「営業開始は学生が大学にいる夏休み明け以降になるだろう」と話した。

「無防備なキャンパス」 「開かれた大学」という理念により門や扉がない本学では、大学構内と大学周辺の危険度に差はない。「他大学のように入り口で検問がないため、誰でも入ってしまう」と学生生活支援委員の足立和隆助教(体育)は「立和隆助教(体育)は」

追越・平砂地区を、午後6時から8時までの2時間かけて歩き、無灯火の自転車でライトを点けるように注意をするなど、防犯意識の向上を図った。昨年は毎回、教職員や警備員など約20人が参加したが、学生の参加は最高でも5人だった。パトロールを担当する五木田喜男総務課長補佐は「学内パトロールに対する学生の関心が低い。もっと学生の防犯意識が必要だ」と話す。

つくば市近隣の本学生によるインターンシップ環境を活性化しようと1月に設立された「つくばインターンシップ・コンソーシアム」は、学生に向けた説明会を4月12日、19日、26日、5月10日に開催した。説明会では、就職課の久保田優子専門員、南就助教(数物)がインターンシップを行うまでの流れや仕事概要について約20分説明を行い、学生からの質問、希望業界を受け付けた。現在受け入れられている企業は申し込みがあり次第、志望学生と間でマッチングを行う。受け入れ企業は中小企業が多く、社長に話しかけるなど会社の全体が見えやすい。希望の登録はホームページからできる。

「安易な言い換えに疑問」  
京都府宮津市では現在、市が配布したする妨げであり、碍は自己に対する妨げ広報誌を巡って論争が起きている。このだという。障がいが本来の書き方であったという、呼び換え自体には異論はない。だが、福祉関係者の中には、言い換えをしただけで満足を得て、障害者の抱える問題は解決されたかと思ってしまう。本学では、身障者向け駐車場を健常者が占拠することも少なくない。バリアフリーも進んでいる。だが、学外へ出てみると、身障者向け駐車場の前に健常者の車が居座っているし、横断歩道と歩道の間に段差がある。先月取り上げたように入り口に階段がある店舗も多い。何も問題は改善されていない。

## 吉田望さん(4年)一日郵便局長に

### 郵便局を身近に感じる

日本を初めて郵便事業が始めた日を祝う第73回郵便記念日の式典が4月21日、望さん(体育4年)が午前8時から10時半まで、一日郵便局長として出席した。式典では、式典で5分間あいさつした後、窓口に来客者にお花を渡すなど、終始笑顔で仕事をこなしていた。



一日郵便局長を務める吉田望さん(筑波学園郵便局で)

筑波学園郵便局は郵政民営化を行うにあたり、少しでも地元住民に郵便局を身近に感じてもらおうと、一日郵便局長に本学生を起用した。ラトで全国的に活躍する傍ら、体育会賞を受賞し、体育会の納会で代表あいさつなどをしていた吉田さんが選ばれた。

## 「マイスター育成講座」

## 開講式に学生ら47人参加

「マイスター育成講座」の開講式は4月10日の午前11時から芸術学系棟B棟203号室で行われ、市民受講生、学生インターから47人が参加した。西川潔芸術専門学群長のあいさつ後、現代GP事務局長の齊藤泰嘉教授(芸術)から、受講案内の説明があり、コース別の受講説明が行われた。

「食と緑のマイスター育成講座」の開講式は4月15日午後12時50分から行われた。参加者は農林技術センターに集合し駐車場の説明を受けた後、総合研究棟A101号室に移動して金井幸雄生物資源学群長(生物圏)からのあいさつ、加藤衛助教(地縁技術)からカリキュラム・事務手続きの説明を受け、コース別のミーティングと二時間半の講義が行われた。

「普及しているのではない郵便」 「普通見るのではない郵便」の裏側が見られ、貴重な体験となった」と吉田さん(体育4年)は話した。昨年はTXのイ卒)が務めた。

「マイスター育成講座」の開講式は4月10日の午前11時から芸術学系棟B棟203号室で行われ、市民受講生、学生インターから47人が参加した。西川潔芸術専門学群長のあいさつ後、現代GP事務局長の齊藤泰嘉教授(芸術)から、受講案内の説明があり、コース別の受講説明が行われた。

「食と緑のマイスター育成講座」の開講式は4月15日午後12時50分から行われた。参加者は農林技術センターに集合し駐車場の説明を受けた後、総合研究棟A101号室に移動して金井幸雄生物資源学群長(生物圏)からのあいさつ、加藤衛助教(地縁技術)からカリキュラム・事務手続きの説明を受け、コース別のミーティングと二時間半の講義が行われた。

「食と緑のマイスター育成講座」の開講式は4月15日午後12時50分から行われた。参加者は農林技術センターに集合し駐車場の説明を受けた後、総合研究棟A101号室に移動して金井幸雄生物資源学群長(生物圏)からのあいさつ、加藤衛助教(地縁技術)からカリキュラム・事務手続きの説明を受け、コース別のミーティングと二時間半の講義が行われた。

# ノギセンで田植え実習

## 生資の学生57人参加

### 附属病院の病院食にも

生物資源生産科学実習の一環として4月24日、農林技術センター(センター長 餅田治之・地縁技術 教授)で田植えが行われた。実体験を通して水田の管理や米の品質、収穫調査法などを学ぶこと実施され、好天の中、57人の学生が参加した。

集まった学生はトレーナーにハーフパンツなどの軽装で田植えに臨んだ。始めに同センターの職員から機械操作などの説明を受け、学生3人に、職員1人が付添い、田植えを開始した。手押し車のように、歩いて押しながら苗を植える歩行式田植機を使用し、学生たち



歩行式田植機を使用し、田植えを体験する生物資源学類の学生(農業技術センターで)



ター内において販売する予定だ。田植えに参加した大宮麻比古さん(生資3年)は、「泥の重さに足を取られてやりにくかったが、普段体験できないことができ

て楽しかったと話した。農林技術センターでは、昨年から本学附属病院と提携し、米とサツマイモを提携していた。この度、5月8日に附属病院内で調印式が行われ、正式に契約が結

ばれた。大学の附属病院が同じ大学で生産した食物を病院食として患者に提供するの全国初の試みだ。

での利用状況の調査を進め、12、13、15、17号棟に各1台ずつ計8台。平砂地区では、共用棟、6、7、9、11号棟に1台、10号棟に2台で計7台。追越地区では、共用棟、18、23、25、27号棟に1台ずつ、24号棟に2台で計7台となった。宿舎棟に設置が予定されている残り1台に関しては、学情の佐藤聡講師(CS)は要望があれば、宿舎祭、学園祭の期間に、WMNを貸し出すこともある」という。

学内への設置場所は検討中。現時点で、中央図書館や学情付近に設置することのみが決定している。

学情では、5月1日にセミナーと協力して、宿舎内器を設置し、4月17日から試験運用を開始した。4月の利用者1083人だった。無線LANの本格稼働は来年になる見通し。学情

では、共用棟、1、8、10、12、13、15、17号棟に各1台ずつ計8台。平砂地区では、共用棟、6、7、9、11号棟に1台、10号棟に2台で計7台。追越地区では、共用棟、18、23、25、27号棟に1台ずつ、24号棟に2台で計7台となった。宿舎棟に設置が予定されている残り1台に関しては、学情の佐藤聡講師(CS)は要望があれば、宿舎祭、学園祭の期間に、WMNを貸し出すこともある」という。

## 全代会 議長に小林さん(工シス3年)

### クラ代、大学との連携を



小林敬介議長



佐藤翔副議長



石崎友則副議長

今年度になって初めての全学学類・専門学群代表者会議の本会議が4月26日(午後6時30分から)ID204で行われた。53人が参加した。当日は、全代会の議長・副議長を決める選挙が行われ、立候補が定員

と同数だったため、信任投票となった。その結果、前年度厚生委員長の小林敬介さん(工シス3年)が承認48票、2保留3で信任され、副議長には佐藤翔さん(図情3年)が再任、石崎友則さん(自然2年)が信任を受け、就任した。

今年度の議長に就任した小林さんに話を聞いた。

全代会は最近の2年間、流会のない、安定した活動を続けてきた。現在の全代会が抱える問題を解決しながら、より一層発展させたい。

問題点は、全代会の活動が十分に学生に伝わっていないという

広報面、クラス代表者会議(クラ代)との連携の薄さ、大学との連携が不十分だったことなどが挙げられる。どのよう

に解決していくのか。広報に関しては、議案を掲示板に掲示する、ウェブの充実などを考えている。クラ代との連携は、クラ代への機関誌の配布や全代会がクラ代の活動を視察、交流することなどがあ

今年度の抱負を。

今年度の抱負を。

今年度の抱負を。

今年度の抱負を。

今年度の抱負を。

今年度の抱負を。

今年度の抱負を。

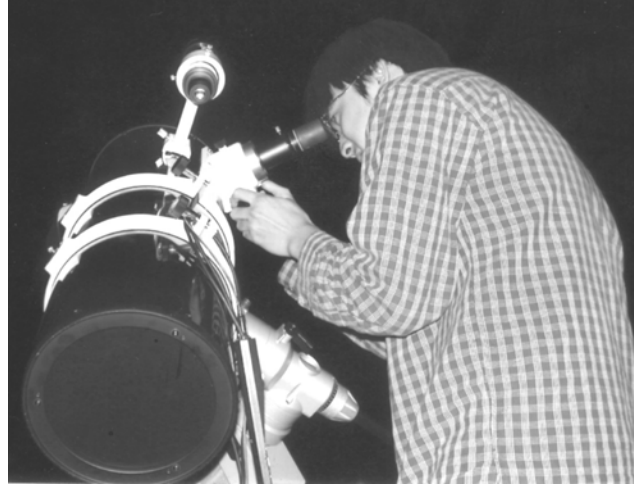
今年度の抱負を。

今年度の抱負を。

今年度の抱負を。

## 天文研究会

星の魅力。「すいしん」といって、冬には凍えるような寒さになるが、仲間と肩を寄せ合いながらの観望もまた楽しい。



肩を寄せ合い、観望楽しむ

望遠鏡は主に2つ使う。一つは「シヤウチ」と呼ばれる小さくて手軽

見たい星に望遠鏡が合わせる。専門誌の「月刊星ナビ」(フレストローア)などを参考にし、旬の星を眺める。

今年度の抱負を。

今年度の抱負を。

今年度の抱負を。

今年度の抱負を。

今年度の抱負を。

今年度の抱負を。

今年度の抱負を。

今年度の抱負を。

今年度の抱負を。

今年度の抱負を。

今年度の抱負を。

今年度の抱負を。

今年度の抱負を。

今年度の抱負を。

今年度の抱負を。

今年度の抱負を。

今年度の抱負を。

今年度の抱負を。

今年度の抱負を。

今年度の抱負を。

今年度の抱負を。

今年度の抱負を。

今年度の抱負を。

今年度の抱負を。

今年度の抱負を。

やどかり祭

26-28日交通規制

第32回宿舎祭(やどかり祭)の開催に伴い、5月26から28日まで、交通規制と駐車規制を行う。規制の時間、場所は次の通り。

◆通行禁止  
ゆりのき通り  
26日午後5時-10時  
27日午前11時-午後10時半  
平砂・追越宿舎内道路

◆片側通行  
27日午後2時半-4時半  
平砂・追越宿舎内道路  
26日午後3時-10時  
27日午前9時-午後10時半  
◆自転車通行禁止  
平砂学生宿舎地区及び一部の追越地区のペDESTリアン

26日午後5時-10時  
27日午後2時半-4時半  
23日午後6時-28日午前0時  
仮設追越西駐車場  
26日午後6時-28日午前0時  
仮設西地区駐車場  
26日午後6時-28日午前0時  
平砂駐車場、仮設平砂西駐車場  
24日午後6時-28日午後5時

27日午前11時-午後8時まで  
野球場横の南駐車場を利用  
◆駐車禁止  
平砂駐車場、仮設平砂西駐車場  
24日午後6時-28日午後5時

蹴球部応援バスツアー

5月27日に開催

本学運動部を応援する、応援バスツアー(主催II体育会)が行われる。今回は蹴球部で、5月27日に対中央大学戦の応援をする。会場はJ1のジェフユナイテッド市原・千葉のホームスタジアムであるフクダ電子アリーナ。参加には事前のチケット購入が必須。チケットは5月9日から体育棟、第一学群棟、第二、三学群棟前で販売されている。メールで申し込みも可能。

日程は、当日午前9時に野球場横の南駐車場に集合後、試合会場に移動する。試合終了後、午後4時に南駐車場に到着予定。片道の参加も可能となっている。参加費は、2000円(バス代・入場料・昼食代・飲料代込み) 問い合わせ先 tsukuba\_bus\_tour06@yahoo.co.jp

数々の賞を獲得、今注目のウェブデザイナー

和田 七洋さん(芸術研究科2年)

「作品を見た人が、これは和田さんの作品だと分かってくれるような作品を作りたい」と和田七洋さん(芸術研究科2年)は話す。

和田さんは現在、学生の傍ら、ウェブデザイナーとして着実な活躍を見せている。企業や洋服店のホームページ(HP)のデザイン・作成を手がけ、コンペにも多く出品する。「経済産業大臣奨励賞」や「2005文化庁メディア芸術祭審査員推薦作品賞」など多くの賞を獲得し、芸術の世界では知る人ぞ知る存在だ。

動く、楽しい作品を優先 理系で培った能力生かす

既存の分野にとらわれないのが和田さんの信条だ。何にも影響されない、自分しか出来ないような作品を心がけている。動きがあるのも和田さんの作品の特徴で、フラッシュを多用し、アニメーション感覚で楽しめるようなものが多い。フラッシュを使うと、コンピュータの動作が重くなるが、「見ていて楽しい、やってみて楽しい」とこ

説明会のお知らせ

編集部では、新人記者募集のための説明会を開催します。5月22、29日の両日午後6時15分から編集部で行います。参加希望者は6時10分までに中央図書館前にお越しください。

本紙では、企画の立ち上げから取材、撮影、執筆、編集まで全て学生の手で行っています。取材先は、学生から学長、世界大会出場選手やノーベル賞受賞者まで、さまざま。取材範囲も本学のニュースを越えて、学生宿舎から学長室はもちろんで、スポーツ大会の開催地など全国にわた

Who's Who?

Now Printing

和田さんの作品の中で、最も話題となったのが「Treasure box」

「作品を見た人が、これは和田さんの作品だと分かってくれるような作品を作りたい」と和田七洋さん(芸術研究科2年)は話す。

和田さんは現在、学生の傍ら、ウェブデザイナーとして着実な活躍を見せている。企業や洋服店のホームページ(HP)のデザイン・作成を手がけ、コンペにも多く出品する。「経済産業大臣奨励賞」や「2005文化庁メディア芸術祭審査員推薦作品賞」など多くの賞を獲得し、芸術の世界では知る人ぞ知る存在だ。

「芸術は人と違うところがプラスになる」と考える和田さんにとって、生物学部で過ごした1年間は今に繋がっていると言

説明会のお知らせ

編集部では、新人記者募集のための説明会を開催します。5月22、29日の両日午後6時15分から編集部で行います。参加希望者は6時10分までに中央図書館前にお越しください。

本紙では、企画の立ち上げから取材、撮影、執筆、編集まで全て学生の手で行っています。取材先は、学生から学長、世界大会出場選手やノーベル賞受賞者まで、さまざま。取材範囲も本学のニュースを越えて、学生宿舎から学長室はもちろんで、スポーツ大会の開催地など全国にわた

問い合わせ先  
029-8553-6699  
shinbun@sakura.ac.jp  
cc.tsukuba.ac.jp

大学会館書籍部ベストセラー

1	国家の品格 藤原正彦/新潮新書
2	ヒストリアンII エリザベス・コストヴァ/日本放送出版協会
3	ウェブ進化論 梅田望夫/ちくま新書
4	ヒストリアンI エリザベス・コストヴァ/日本放送出版協会
5	他人を見下す若者たち 遠水敏彦/講談社現代新書
6	99.9%は仮訳 竹内薫/光文社新書
7	ITの歴史 ベートル・ペックマン/ちくま新書
8	東京タワー リー・フランキー/扶桑社
9	ゲド戦記I 影との戦い ルーグウィン/岩波書店
10	ヒルガートの心理学 内田一成/ブレン出版

4月の1位は藤原正彦の「国家の品格」。5位は遠水敏彦の「他人を見下す若者たち」。やる気がなく、謝らさず、他人を軽視し、すべ

催事

◆「チャリティーコンサート We Are The World」6月9日、つば市立中央図書館アルスホール。午後6時半開演、午後7時開演。入場料は無料。

◆「議員のお仕事」院生議員から見た「政治・つくば」6月3日、午後3時から、第一学群D棟303講義室。主催II NPO法人I-CASつくば支部 本学大学院生つくば市議会議員の五十嵐立青さん(人社5年)を招いて講演会を行う。問い合わせ先 同団ホームページ http://www.i-cas.org/ 同団アドレス tsukuba@i-cas.org

◆筑波大学吹奏楽団第55回定期演奏会 6月3日、ノバホール。午後3時開演、午後3時半開演。J・バーンス「パガニーニ」の主題による幻想交響曲「他」。入場料一般1500円(前売400円)、中学生以下無料。問い合わせ先 yeh\_ibaraki@yahoo.com.jp

◆「チャリティーコンサート We Are The World」6月9日、つば市立中央図書館アルスホール。午後6時半開演、午後7時開演。入場料は無料。

◇キジ◇

実験植物園にて、オス同士が喧嘩をしている所を捉えたもの。時にジャンプを行い、激しく争うその姿には、闘鶏を見ているかのような印象を持たれた。大学敷地内にも多く、繁殖期には、オスがけたたましい金切り声で鳴いているのをよく耳にする。草木の茂る中に身を隠しながら地上生活をしているため、姿を見せることは少ない。日本の国鳥。(写真・文II大竹亮介、生物3年 野生動物研究会)

